

事業名 【盛岡AI・IoTプラットフォーム事業】

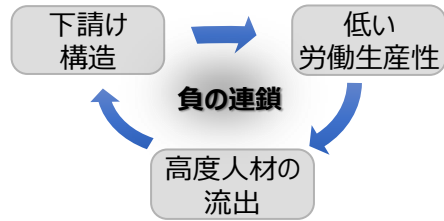
事業費 22,999千円 (ふるさと納税活用額 2,850千円)

【概要】
「産業の高度化」、「高度IT人材の育成・確保」、「若者の地元定着」等を目指し、令和3年度より開始した事業。下記の取組を展開。

- <取組1> セミナーや学習交流会を通じた異業種間交流促進
- <取組2> デジタル技術を活用した実証実験事業への補助
- <取組3> IT人材育成、スタートアップ支援
- <取組4> サテライトオフィス誘致

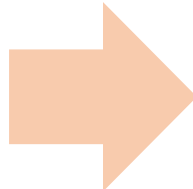
【現状】

- ✓ **高度人材の流出**
(東京圏に年間約1,000人が流出)
- ✓ **首都圏のニアショア、下請け・孫請けが多い**
(労働生産性が低い)



【課題】

- ✓ **魅力ある産業の育成**
(産業の高度化・高付加価値化)



【取組方針】
デジタル技術の実装による産業の高付加価値化、若者の地元定着を目指す

【事業実績】

【1】セミナー、学習会による異業種交流

- ✓ DXやデジタル技術に関する学びの場を提供。
- ✓ R5年度はセミナー2回、学習会6回を開催し、延べ223名が参加。

【3】IT人材育成、スタートアップ支援

- ✓ 市内企業等を対象とした「DX人材育成講座」を2期に渡り開催(計32名参加)。
- ✓ 岩手県にゆかりのある学生を対象としたデジタルアイデアコンテスト「デジコン」開催(161名参加)。

【2】実証実験事業補助

- ✓ デジタル技術を活用した実証事業に係る経費を最大100万円(※)補助。
- ✓ R5年度4件の実証実験事業を採択。

(※) 補助率上限：4/5

【4】サテライトオフィス誘致

- ✓ R5年度新たに1社のIT企業が盛岡市に進出。
- ✓ R5年度新たに7,700千円の企業版ふるさと納税を受領。

【事業スキーム】

スタートアップ拠点の形成
(高度人材が魅力を感じる高付加価値の雇用の場の創出)



盛岡AI・IoTプラットフォーム事業

(未来技術にチャレンジする場)



取り組みの様子についてはマルチモ盛岡HP H Pより発信しています。 <https://morioka-area-technology.jp/>

